

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 千464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 竹内真三

No. 48

みんなにロータリーを —— みんなに奉仕を
Share Rotary —— Serve People

1983-84年度RI会長 ウィリアムE. スケルトン

第92回例会 昭和59年6月12日(火) 晴

◆“奉仕の理想”

◆出席報告

会員 54 (55)名 出席 38名

出席率 70.37%

前回 6月5日 (修正出席率) 96.30 %

make up

橋本君(6/9守山), 原君(6/6和合), 加藤(敏)君(6/1港), 菊池君(6/9守山), 小池君(6/9守山), 黒野君(6/7西), 水野(眞)君(6/9守山), 大口君(5/31瑞穂), 菅原君(5/31西), 鈴木(正)君(6/4空港)鈴木(倫)君(5/30南), 手島君(5/30和合), 寺澤君(5/30和合), 都築君(6/9守山), 鶴飼君(5/30南)

◆ビジター紹介 6名

◆誕生日祝福

寺澤君(6/8)

◆ニコボックス

相羽前分区分代理(久しぶりにお邪魔して早退します, 悪しからず), 菊池君(理事会欠席して失礼しました), 竹内君(太田茂君を御紹介できて幸いです), 手島君(ホームクラブ休みましたので), 太田君(本日より入会させて戴きます), 松藤君(本日申しわけありませんが早退しますので悪しからず, 又弊社の鈴木がメイクアップさせて頂きます。

昨日, 藤岡CCの7Hでホールインワンしました), 寺澤君(誕生日)

◆三輪幹事報告

1. 5月度理事役員会及び臨時理事役員会(6月5日)の御報告申し上げます。

- 理事役員会を欠席する場合は委任状を提出する。
- 会員の身内で御不幸があった場合は必ず事務局へ連絡する。
- 外部より当クラブの奉仕活動に値するような御依頼があった場合は, 幹事を窓口として該当する委員会に連絡し, 委員会

より理事会に提出, 審議検討する。

2. 本日例会終了後, 臨時理事役員会を行いますので理事役員の方はお残り下さい。
3. 次回例会は午後6時よりクラブアSEMBリーの為, 昼間の例会はございませんのでお間違いなきようお願いいたします。又例会のあと臨時総会を開催いたします。
ご案内済みですが, 次年度理事役員会が午後4時より行われますので次期理事役員の方はお忘れなくご出席下さい。
4. 第265地区鯖江地RCの認証状伝達式(S. 59. 9/2)の御案内が来ておりますので参加希望の方は事務局までお申し出下さい。
5. ロータリーの適用相場が7月1日より1ドル232円に変更されます。

◆加藤(正)君挨拶

過日, 妻の葬儀に際しまして, 会員の皆様に数々の御厚情を賜りましたこと厚く御礼申しあげます。ありがとうございました。

◆パナー披露

東京芝RC (堀場君)

◆新入会員紹介



氏名 太田 茂 君
生年月日 昭和4年5月15日
事業所 (株)マルモバック
北区芦辺町2-7

TEL 981-1286

地位 社長
自宅 北区芦辺町2-7
推薦者 竹内 真三
職業分類 加工紙
委員会 親睦活動

◆竹内会長挨拶

古川さん、加藤(田)さんと相ついで夫人を亡くされました。この機会に私の死生観の様なものを申し上げてみたいと思います。

どうも私共人間は「病の果てに死ぬ」との考えをしがちであります。「病」と「死」とが表裏をなしてある様に考えがちであります。だから逆にいえば“病を無くすれば死の方も消える”とぼんやり思っています。

然し長い間色々の患者を看ていますとどうもそうばかりでもないらしい事が判って参ります。“生”、“老”、“病”、“死”の四つを所謂四苦と申しますが、走馬灯の様に順繰りにこの四つが徑廻って来る様に思っていますけれども実はそうではない、この四つ。夫々に独立して互に関係ない--- という事が近頃やっと判ってきました。

従って今迄多勢の患者さんの命を救ってきたと自負し、不遜な態度であったのは大変な間違いであったと申し訳けない気持ちであります。

何故とって医者に関与するのは「疾病」の軽重についてであって患者の生命とは全く関係がない。にも係らず患者の生命を左右してでもいる様な錯覚から尊大で鼻もちのならぬ日常に終始しているからであります。

では「生命」は誰が関与するのか。それは患者本人の問題というか天与のものというか私にはそうとしかいえない。大出血で絶望を宣言しながらも一縷の望みから施術した患者が意外にも蘇生恢復した時などは医学医術の常識外の力の存在が患者を救命したとしか考え様がないのであります。凡人の悲しき「先生のお蔭で---」とお礼を言われると嬉しくないといったら嘘になる。然し、ではもう一回同じ事をして成功するかといわれると自信は更けないのが実情です。麻酔学の発達が地獄の入口に立つ患者を多く連れ戻しているのは事実ですが、事実としても猶その入口をそのまま越えるか或は引き返すかは今日でも医学の領分外の問題であります。術後の経過良好のものが理由もなくアッという間に生死の境界を変えてしまうのは何だろう。而も事後の医学的説明は「生死」に関しては空しく且つ全く役に立たない。医者が関与する領分というものが高々「病」の軽重のみで恰も「死」の領域まで支配してつむりの自惚れを痛み入るばかりである。

その昔自殺を計って服毒した患者を蘇生させて逆に恨まれた記憶もある。若い頃の私は“人に命を救ってもらって文句をいう奴があるか”と内心思ったものだが今思えばただ、患者がまだ「死の時期」になかっただけの事、

患者に「死の縁」があれば確実に死ねたものを俺が地獄の蓋をあけてこちらへ引っ張り上げたんだとは、自惚れもい加減にせいと汗の出る思いである。

「死ぬべき者は死ぬ」「死ぬぬ者は死ぬぬ」と解った様な解らぬ事を申して恐縮です。然し大切な事です。「病」は「死」への機縁には違いなく又一番ケースの多いステップでしょう。だからこそ医者が尊敬されてきた所以がそこにあります。間違とは申しませんが医者にも「病」と「死」に対する明快なる区別と謙虚なる反省が必要でありましょう。

『死』は他人事と思つて暮らしているのが普通ですが、当クラブの諸君も私も常に「死に神」を背負って生きているのではないのでしょうか。その上で泣き笑い健康だといったり大病をしたといっているに過ぎません。一度、「死に朝」が目を醒して背中をポンと叩いて「オイ、ソロソロ時間だぜ」となった時が絶対絶命の時、薬石も医術も無力を知らされる時でありましょう。

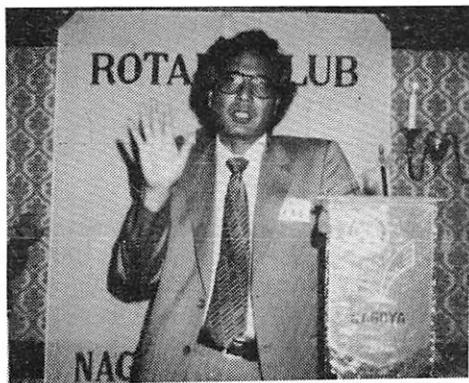
頼りなく果敢ない話になりましたが「死に神」がポンと背中を叩くまで千種R.C.の一員として精一杯の事をやらせて頂きたい-----と、まあこう考えておる事を申し上げてお終いといたします。

◆講演

“イ・イ戦争について”

中日新聞 社会部記者 坂井 克彦氏

(紹介 三輪君)



昨今、新聞にイラン・イラク戦争のことが一杯でていますが、今日は時間が短かいので四つの事に限ってお話したいと思います。

一つはイラン・イラク戦争が何故起きたかという点。二つ目は三年八カ月も戦争が続いているが、どうしてこんなにダラダラと続くのかという点。三つ目は最近の情勢すなわち今、現在どうなっているかについて。四つ目には、これから予想されることはどうなのか、多分こうなっていくであろうという予測について。この四つのことについてざっとお話したいと思います。

まず一つ目の何故起きたかという点についてお話しする。基本的には領土の奪い合いである。ティグリス・ユーフラテス川の下流の

シャトウ・ル・アラブ川がペルシャ湾に流れ込んでいるが、もともとは東側すなわちイラン側が国境であったが、今から9年前にパーレリ国王が強大な軍事力を背景に、河の真ん中に国境を持って行ってしまったことである。当時のイラク側の副大統領が現フセイン大統領で、これが一つの伏線である。

次には人種問題がある。イランはヨーロッパ民族であり、イラクはアラブ人で、常にイラン人はイラク人に対して優越感を持ち、べっ視している。

もう一つは、宗教問題がある。共にイスラム教であるが、イラン人の9割を占めているシーア派は少数派で、イラク側のスンニ派から千二百乃至千三百年の永い間、迫害され続けている。これも抜き難い憎しみとなっている。

こういうものが基本的にあったところ1979年2月、ホメイニ師の革命でイランが大混乱になり、特に強大だった軍事力がバラバラになってしまった。そんなところへイラク側が攻め入ったのである。イラク側は9年前の国境線に戻せというのが言い分で、これがいわゆるシャトウ・ル・アラブ川の領有権主張である。

二つ目の何故こんなに続いているかという問題ですが、イラン・イラク共に中東では大きな国ではあるが、武器弾薬を自給し得ないのであり、持っている武器弾薬を使い切れれば戦争は終る筈である。これが終わらないのは誰かが援助しているからなのである。もともとイランは人口も国土もイラクの3倍の力を持っているので、戦争をすればイラクが必ず勝つ筈であるが、イラクにはソ連・フランス・英国とかアラブ諸国など応援団が一杯ついている。

どうしてイラクに応援が多いかという点、イラクが決して好かれていたわけではないがそれ以上にイランのホメイニ師によるイスラム革命が世界から徹底的に嫌われているからである。そんなことで力が拮抗して、そのため戦争が続いているのである。

もう一つは当事者同志の問題がある。イラクは戦争を中止したいという気持を持っているが、イランが拒否している。これは何故かという点、国際与論が味方してイラクに有利になるに違いないと思込んでいるからである。

しかし、二国間だけで行なわれる話し合いには応じる姿勢ではない。イラン側は戦争を始めたのはイラクであるから、イラクが詫びてイラン側の停戦3条件を呑むことを要求している。この3条件の一つは、日本円にして約36兆円の賠償金。二つ目は、もとの国境までイラク軍の撤退。三つ目にはフセイン大統領の懲罰。この三つ目のことが一番問題である。こんな外的及び内的原因で戦争は終わらないのである。

しからは、三つ目の最近の情勢はどうかという点、イラク側の大攻勢と考えればよい。

ペルシャ湾ではイラン向けの貨物船を攻撃し、次にタンカーをつぶしにかかった。これはカーク島で行なっているが、イランにとって石油を積み出す場所はカーク島一カ所だけ

である。こういうことをすると各国のタンカーが寄り付かなくなって、結果的にはイランが石油を輸出できなくなってきている。イラン側もその報復としてサウジ側のタンカーを爆撃している。しかし、アメリカはAWACSを使い、サウジに指令を出し、イランのファントムをつぶし制空権を握ってきている。

それから今日、午前9時1分に都市攻撃を互にやめることになった。このような限定停戦が始めて行なわれることになったが、全面停戦になるかどうかは全く分からない。でもこのような限定停戦にイラン側が応じたのは海空のみではなく、陸上においてもイランが取けている証拠である。

最後に四つ目のこれからどうなるかという点であるが、イラクが戦争を始めて直ぐ、戦争を止めたいといひ出したのは、イラクの3分の1の石油のパイプラインが閉じられているからである。ところが最近になってイラクの軍事力が上位になり、またアメリカの技術と金によって、サウジアラビアを通して紅海に行くルートを開通に作っている。このためイラクの経済力が格段に上がる。こうして、ますますイラクが有利になる。そうやってどうなるかというと、イランの戦争遂行はホメイニが言っているが、ホメイニ(41才)に権限が移ってきており、実権がホメイニに移れば停戦ができるかも知れない。サミットでも論議されたが何んの解決にもならない。要は力の差がつけば戦争は必ず終るであろう。

しかし、危険なのはアメリカがイラク・サウジの後押しをし、一方、ソ連がイランに色目を使ってきているので、東西冷戦のパターンになり、こんなことになると大へん厄介なことになる心配がある。(文責 堀場)

—— この一年を謝して ——

尾張第一分区代理 田中 徹

昨年の地区協議会の折、ようやく任期を終えられようとしていた或る分区代理さんに「この一年何にポイントが置かれましたか」と質問したら、直ちに「人間関係です」と云う言葉が跳ね返ってきた。人間関係とはどの様なことであろうか、と漠然とした気持であったが、さて任務が始まって時間が経過すると共に、人と人との触れ合いが実に暖かいものとして感ぜられ、友情がさらに友情を生み、これに支えられて1年が過ぎようとしている。友情なくして奉仕はないと言うが、これが実感として強く体験させられた1年であった。

それにしても、名古屋市内14クラブ、知多5クラブの連絡係の仕事は想像以上にきついものであった。ガバナーの御苦勞とは比べようもないが、クラブ訪問、公式訪問の随行、I.G.F.、会長・幹事会、各種委員長会議、新入会員講習会、そして本年は創立を祝う記念例会の多い年でもあったし、スケルトンR.I.会長の来名も記念すべき事であった。

そして私自身が得たことは、多数の新しい友人知己ができたこと、分区内19クラブを横一列に並べて客観的に勉強できた事であった。

今までとかくホームクラブの中だけでロータリーを論じ、井戸の蛙大海を知らずであったが、これは得がたき体験であった。各クラブはそれぞれの誕生のルーツを持ちながら性格も行動も異なり、それでいて熱心に奉仕活動。クラブ奉仕をなされている事は、さすがロータリーであるとロータリアンとしての自負と確信が持てた事であった。

それにしても微力の私がかたくも務めを終えられるのも奥澤ガバナー、花岡幹事さんをはじめパスト・ガバナーの先輩諸賢の暖かい御指導と御叱正があったればこそであり、分区各クラブの御友情と合せて深く感謝申し上げます。

◆尾張中央RC, RI 加盟証状伝達式挙行

5月6日、尾張中央RCは名古屋都ホテルにおいて、県知事、師勝、西春両町長他多数の特別来賓、ガバナー、尾張地域PC、地区拡大カウンセラー、愛知県内分区代理、元尾張第二分区内各クラブ会長、スポンサー・クラブ会長、幹事、特別代表、ガバナー・エイド等の来賓、地区外6RC、台湾永和RCの会員多数参加のもとに盛大なRI加盟証状伝達式を行いました。

式典は長谷川会員の進行により始まり、野田特別代表の設立経過報告、ガバナーより証状の伝達および告辞があり、青井新クラブ会長の挨拶、会員紹介のあと、記念事業目録贈呈、地区万国旗(トンガ王国)贈呈が行われ、県知事、師勝、西春両市町、スポンサー・クラブ会長、台湾永和RC会長より夫々祝辞が述べられ、クラブ設立功労者に新会長より記念品の贈呈があつて厳肅のうちに式典を終了しました。式後祝宴に入り、名古屋芸術大学ウインドオーケストラの演奏等のアトラクションを鑑賞、参加会員一同新クラブの誕生を祝い前途を祝福し合つて無事解散いたしました。

なお、伝達式を記念して行われた事業は、R財団・米山記念奨学会への寄付、愛知県社会福祉事業、西春・師勝両町警察署、保健所、ボーイスカウトへの助成金の贈呈等でありました。

移籍会員11名を含み30名で出発した当クラブは、短期間に7名の会員を増強。創立より出席率100%を継続して、奉仕の第一歩からすばらしい実績を築かれています。今後の発展をご期待申し上げます。

◆名古屋熱田ローターアクトクラブ承認

名古屋熱田ローターアクト・クラブ(提唱RC名古屋南、名古屋東南、名古屋瑞穂)は去る3月15日地区内12番目、愛知県内7番目のクラブとして誕生しましたが、3月27日付をもって結成証明書が下付されました。今後のご活躍をご期待申し上げます。

会長 一ノ瀬裕一

幹事 太田 英夫
 例会日 毎月第1・第3木曜日 18:30
 例会場 熱田神宮文化殿2F会議室
 〒456 名古屋市熱田区神宮1-1-1
 TEL052(671)0582
 事務所 〒460 名古屋市中区栄1-12-12
 東洋ビルB1
 TEL052(221)6533

◆4月度分区別会員数及び出席率

分区	クラブ名	会員数	出席率	例会数	前会員月数	増減
尾張第一分区	半田	65	98.71	4	65	0
	半田南	46	100.00	4	46	0
	東知多	48	91.10	4	45	+3
	名古屋	221	95.05	4	224	-3
	名古屋千種	53	98.58	4	53	0
	名古屋東	97	98.15	4	94	+3
	名古屋北	99	100.00	4	100	-1
	名古屋名北	57	100.00	4	55	+2
	名古屋名東	53	100.00	4	53	0
	名古屋南	118	99.40	4	118	0
	名古屋港	109	99.52	4	106	+3
	名古屋瑞穂	63	98.10	4	63	0
	名古屋守山	86	100.00	4	84	+2
	名古屋中	102	100.00	4	99	+3
	名古屋西	152	98.75	4	152	0
	名古屋東南	84	100.00	4	85	-1
	名古屋和合	83	100.00	4	83	0
	東海常滑	51	97.55	4	50	+1
		63	97.92	4	63	0
	19C	1,650			1,638	+12

◆ビジターフィー変更のお知らせ

(7/1以降)

名古屋名東RC(旧) 2,600円→

(新) 2,800円

名古屋和合RC(旧) 2,600円→

(新) 2,800円

名古屋西RC(旧) 2,800円→

(新) 3,000円

◆次回例会(6月19日)

クラブアセンブリーの為、講演はごさいません。

◆次々回例会(6月26日)

シャンソン歌手・平乃たか子を迎えて

(紹介 竹内君)